

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校
新座市立第四中学校学校だより 令和6年7月19日 第5号
TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



効率のみに非ず^{あら}

校長 鮫島 弘樹

カレーライスを作る若者たちを追った、ドキュメンタリー映画を観たことがあります。上映時間は約1時間半で、ただ、カレーライスを作るだけの内容にも関わらず、小さな映画館はほぼ満席でした。

カレー作りに取り組み始めた大学生たちが、食材調達のために向かったのは、スーパーではありません。訪れたのは、野菜などの「種」を扱う業者でした。

彼らはそこで数種類の種を入手し、自分たちで耕した畑にまきます。唐辛子やコリアンダーなど、カレー作りに欠かせない香辛料や、じゃがいも、人参などの野菜を一から育てようというのです。

また、彼らは新座市も訪れていました。市内にあるダチョウ牧場を訪ね、ダチョウを飼育しようと試みます。カレーに入れる肉を、なぜか「ダチョウの肉」にしようという案で、まとまったそうです。

彼らは、野菜もスパイスも肉も米も、自分たちで育て始めます。しかし、それだけではありません。味つけに使う塩は海水から取り出し、盛り付ける皿やスプーンも、すべて一から自分たちで作ろうという、壮大な話になっていきました。

一杯のカレーライスが完成するまで、約9か月間という、途方もない時間を費やしたそうです。

映画「カレーライスを一から作る」(監督:前田亜紀/出演:関野吉晴・武蔵野美術大学 関野ゼミ生/2006年)は、YouTubeの企画でもなければ、何かのパフォーマンスでもありません。派手なアクションも、爆笑シーンも

ありません。大学生たちが、自分で食べる物を一から手作りしようと奮闘する、「ただそれだけ」の映画でした。

このプロジェクトが最終的にどうなったのか、ここに記すのは控えます。

小難しい理屈はさておき、観ているこちらにもワクワクするような、興味深く、魅力的な活動だと私は思いました。

参加した学生たちにとっては、「ただそれだけ」ではなく、忘れ得ない強烈な体験になったはずです。「食べること」「生きること」「働くこと」などについて、一人一人が考えを深める活動となったに違いありません。

「タイパ(Time Performance)重視(=時間を効率的に使おうとする考え方)」の時代だと言われますが、自分を豊かにしてくれる、濃密で、ゆったりとした時間の使い方というものがあるはずです。

さあ、明日から40日間の、長い夏休みが始まります。

6月29日(土)に実施した「草バスターズ」では、早朝にも関わらず、多くの保護者や地域の皆様にお集まりいただきました。精力的に除草作業を進めていただただけでなく、「学校は、地域みんなで支えるものなんだよ」といった、温かいお言葉も頂戴しました。

本当に心強く、感謝の思いでいっぱいです。ご参加いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。